

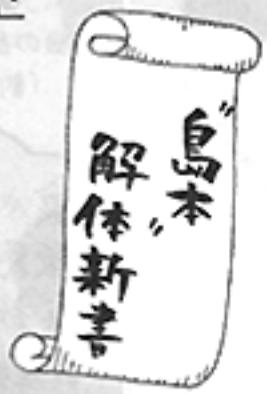
鷹の爪新聞

2016年冬、46号



株式会社島本食品
〒811-0290 福岡県糟屋郡志摩町12-829-6310
Tel. 092-963-3111 Fax. 092-962-1739
www.shimamoto.co.jp
info@shimamoto.co.jp

「これってどうなんだろう?」
「ここをもっと深く知りたい!」
「こんな話を聞いてみたいな」
というお客様のワクワク感が伝わるお便りをヒントに、
島本を一つ一つ紐といてみました。
どこまで聞いていいのかなって?いいえ、私たちが知り
得ることでしたらドゥンとなんでもお答えしましょう!



Q1. 商品の購入はできるんですか??

A1. もちろんできます!

本社工場は1Fに加工場、発送室と「工場直売店」があるんです。入口が少しわかりづらいのが難点...ですが島本すべての商品がそろっているので、急なご入用にもお応えできますよ~!
おまけに**駐車場完備★**遠方からのお越しでもゆっくりと買い物をお楽しみ頂けます♪
せっかくなので、「工場直売店」を写真にて解説しちゃいます!!

川崎



「工場直売店」店内入口横にお得な切れ子、奥のショーケースには贈答品を陳列しています。



本社敷地に入っただけには、広々としたスペースの「お客様専用の駐車場」もあります!



Q2. 箱やホームページに書かれている、明太子のキャラクターって何ですか?とっても可愛い!!

A2. 「しまもとめんたいこちゃん」です☆

「辛子明太子のひと粒」と「作り手・贈り手・貰い手のころころ(ハート)」を表した島本の屋号から飛び出した、しまもとめんたいこちゃんです。
いつも微笑みを浮かべて、いろんなパッケージにコロリンと転がっています。
登場以来、可愛いと人気急上昇中!
実は色ちがいの仲間がいるのを知っていますか??



島本のイメージガール(!?)

Q3. 島本さんの苦労話が聞きたいです!!!

A3. えっ!?そこ、聞きたいですか...?(汗)

一つ、ロゴをかえる時は並々ならぬ覚悟をもつべし。
一昨年7月、今まで慣れ親しんだ屋号を一新した弊社島本。
いざ変えん!!というときは私たちもドキドキワクワクしながら準備を進めてきたわけですが... 変更後にぼろぼろと出てくる変更指示漏れの資料たちに「アレがありません!」「コレもありません(泣)」と悲痛な叫びが行きかう社内はまさに阿鼻叫喚地獄絵図。あれは本当に恐ろしい光景じゃった...

一つ、遠方より出勤する者、終電で寝るべからず。
あれは、春うららかな季節。博多付近にて歓迎会という名の飲み会を行っていた弊社社員。みんないい感じにお酒がまわってきた頃、テーブルの隅で日本酒を嗜みはじめた部長の外尾と部下 寺崎。酒豪の部長にのせられていつもよりハイスピードで呑んだ寺崎は...なんと解散後の電車でスヤスヤ夢の中へ...Zzz...
行き着いた見知らぬ土地からタクシー代 5,000 円かけて帰宅したとき。トホホ...(泣)

寺崎



「島本のすべらない話」 不定期第2回

とある日のこと。島本の部長外尾が「俺はあんまりクセとかないと思うんよね」と鷹の爪編集者川崎に言ってきた。川崎は目を見開き「クセ?...いやいやいや、ありますって。本社内線のとき必ず、ちよつと確認なんやけどね。って切り出すんです。なので一部からは**確認犯**って呼ばれますよ、部長」「えっ!俺、そんなこと言ったらんよ!しかも確認犯ってひどくない?」と全否定した二日後のこと。川崎に一本の内線がかかってきた...

「あ、もしもし?外尾です。ちよつと確認なんやけどね...」(間)「はあ?本当に言ってた!本当、言ってるねこれ!」...ですね、言ってます。

自覚してただけで本当に良かったと思えました(にっこり)。

